

令和8年度京丹波町人権映画会

35年目のラブレター

上映時間：120分（日本語字幕、副音声付）

日時　令和8年12月5日（土）

13:30～15:40（開場13:00）

入場無料

申込不要

会場　山村開発センターみずほ　（京丹波町大朴）

主催：京丹波町・京丹波町教育委員会・京丹波町人権啓発推進協議会
後援：園部人権啓発活動地域ネットワーク協議会・京丹波町きらりネットワークの会



心温まる感動の実話
読み書きできない夫と幸せを教えてくれた妻が歩んだ人生

Story

「君は、僕と結婚して、幸せでしたか？」

西畑保、65歳。文字の読み書きができない。そんな彼の側にはいつも最愛の妻・皎子がいた。

保は貧しい家に生まれ、ほとんど学校へ通えず大人になった。生きづらい日々を過ごしてきたが、皎子と運命的に出会い、めでたく結婚。
しかし、その手放したくない幸せ故に保は読み書きができないことを言い出せずにいた。半年後、ついにひた隠しにしてきた秘密が露見し別れを覚悟する保だったが、皎子は保の手を取りながらこう告げた。



「今日から私があなたの手になる」　その言葉に、その眼差しに、保は救われた。



どんな時も寄り添い支えてくれた皎子へ感謝のラブレターを書きたい。定年退職を機に保は一大決心し夜間中学に通い始める。担任の谷山恵先生のじっくりと粘り強い教えや年齢・国籍も異なる同級生たちと共に学ぶ日々で少しずつ文字を覚えていく保。だが老齢のため物覚えも悪く、気付けば　5年以上の月日が経過した頃、一字また一字と書いては消しまた書くひたむきな保と、それを見るともなく見守る皎子は結婚35年目を迎えていた。変わらない日常がいつまでも続くと思っていた。なかなか書き上げられずにいたラブレターがようやく形になろうとしたいた頃、皎子が病魔におそわれて……。

この映画会は、人権週間啓発活動の一環として開催するものです。
また、京丹波町民大学講座としても位置付けています。

問い合わせ先
京丹波町健康福祉部税住民課
☎0771-82-3803

人権相談

ゼロ ゼロ みんな の ひゃくとおばん
0570-003-110

学校や職場での いじめ	インターネット上の 誹謗中傷	差別	暴力・虐待・DV	ハラスメント